

# 【三渡川水系】河川整備計画の概要



### 流域の概要

項目	データ	備考
流域面積	約 54.31km <sup>2</sup>	
河川延長	約 21.1km	
関連市町	松阪市	1市
人口	約 4千人	
支川	岩内川、堀坂川、中川、百々川	
土地利用	山林約 23%、農地約 60%、市街地約 17%	
年間降水量	1,660mm 程度	1998~2005年、松阪市
平均気温	15.9℃	1998~2002年、松阪市

### ■既往の浸水被害

既往の浸水被害(例: H16.9 台風 21号)

国道42号の冠水

越水(約1m)

写真: 百々川の越水状況

流下能力の小さい狭窄部、河積不足を起こしている鉄道橋・道路橋が存在

近年では平成5年11月に床下浸水、平成12年9月の東海豪雨で床上・床下浸水、最近では平成16年9月の台風21号により床上・床下浸水の被害が発生

写真: 内水被害(津屋城地内)

### ■河川環境と河川利用の現状

#### 河川の利用及び水利用の現状

- 河川水の利用
  - 水系全体で許可水利6件、慣行水利13件の水利権(許可水利の年間合計取水量は最大で0.541 m<sup>3</sup>/s、慣行水利の合計受益面積は75ha)。
- 河川空間の利用
  - 掘坂川上流の森林公園付近での散歩、ジョギング等、河口部の干潟では潮干狩りや魚釣りを楽しむなど住民の身近な空間として利用されている。
- 水質
  - 三渡川水系では水質基準の類型指定はされていないが、H13~17年度のBOD値はA類型(BOD75%値が2mg/l以下)相当と水質は良好。

#### 河川環境の現状

- 河岸に点在するマダケ林やメダケ群落、河道内のヨシ原、下流部の感潮・汽水域において干潮時に出現する広大な干潟は、多くの鳥類や魚類、トンボ類等の生息・生育・繁殖環境となっている。

#### BOD75%値経年変化

#### 三渡大橋(国道23号)

#### 河口部の干潟

#### 三渡川における環境学習の事例(天白小学校)



### ■整備目標

- 河川整備計画の計画対象期間
  - 今後、概ね30年間とする。
- 洪水・高潮等による災害の防止または軽減に関する目標
  - 【三渡川】
    - 下流の市街地区間(河口~近鉄山田線): 概ね10年に1回程度発生すると予想される豪雨(流域住民の記憶に新しい平成16年9月洪水(台風21号)相当)
    - 中上流の農地を流下する区間: 概ね5年に1回程度発生すると予想される豪雨
  - 【百々川】
    - 百々川下流の市街地区間(河口~国道23号): 概ね10年に1回程度発生すると予想される豪雨(流域住民の記憶に新しい平成16年9月洪水(台風21号)相当)
- 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項
  - 流水の正常な機能を維持するための必要な流量については、今後流況の把握を行うとともに取水実態や動植物の生息・生育・繁殖環境等の調査を行った上で設定に努めるものとする。
- 河川環境の整備と保全に関する目標
  - 流域内河川の自然環境及び河川利用の実態把握に努め、治水・利水面との調和を図りつつ、河川が本来有する動植物の生息・生育・繁殖環境の保全と整備に努める。

### ■整備内容

- 河川整備の内容
  - 【三渡川】
    - 1.6k~3.2k : 掘削、引堤、護岸、築堤
    - 改築構造物 : 三渡橋
  - 【百々川】
    - 0.0k~1.0k : 掘削、引堤、護岸
    - 改築構造物 : 百々川水門、松ヶ崎橋
- 維持管理内容
  - 河道及び河川管理施設、水量や水質についての適切な維持管理を行う。

### ■費用対効果分析 (B/C)

費用便益比 = 総便益 (B) / 総費用 (C)

三渡川 B/C = 699.07億円 / 13.47億円 = 51.9

百々川 B/C = 148.33億円 / 26.50億円 = 5.6

